

第74回ジャパンカップ×HPCJC

熊本競輪〔F I〕

熊本 **けいりん**
ニュース



6/25水・26木・27金

電投番号 **87#**

S級戦展望 主役は中川誠一郎

今回のS級戦は全国発売のジャパンカップ。高松宮記念杯から間が無い事で全国幹旋でも1班は8名。北からは坂本貴史(青森)が唯一の1班。話題のルーキー中石湊(北海道)に自力・自在の嵯峨昇喜郎(青森)にメーカー保科千春(宮城)。関東は自在の河村雅章(東京)が軸。前は頼れる若者、浮島知稀(群馬) 治田知也(新潟)。南関東は新村穰(神奈川) 日高裕太(静岡)の自力型には実績の鈴木裕(千葉) 新田康仁(静岡)。中近は谷口遼平(三重) 脇本勇希(福井) 高橋和也(愛知)の自力型が主力。瀬戸内は自力を貫いていた時は7車立の鬼と呼ばれF1は無敵だった島川将貴(徳島)、現在は弱ついても力上位。九州は1班3名、中川誠一郎・東矢圭吾の地元熊本コンビに力ある岩谷拓磨(福岡)。2班も充実して居り、地元戦に張り切る緒方将樹(熊本)。自在、成松春樹(佐賀)、

自力の原口昌平(福岡)もだが、105点を越えてる中村圭志(熊本)は予選・準決は堂々の主役。この中から難関の準決勝を突破する7名を選ぶのは至難の業ですが、期待度込めて中石湊は力で予選・準決を突破。準決で中石と連携するであろう坂本貴史の北日本2人。自力・自在の河村雅章は熊本バンクはマッチな上に浮島知稀か治田知也を準決で使えるのは有利。南関東は自力の2人にベテラン鈴木裕・新田康仁は準決に乗っても余程恵まれない限り優出は難しいと想定。中近から抜擢したのは実力と実績で谷口遼平。熊本は4月に走り好走してる脇本勇希はネームバリューからして優出して欲

A級戦展望

A級戦はS級に遜色無い好メンバーの激突。1班の特選組でズバ抜けているのは川口雄太(徳島)が6月頭の別府レイン

常次勇はタイプとして岩井芯とは別線で野口正。北は鈴木涼に高木翔で結束。川口雄が特進した時は山田駿が乗って来るものと思われま

しいレーサー。瀬戸内の島川将貴は調子以上に周りを固める選手が少なくしては不利。九州は豊富なので4人くらい選びたくても残り3人であれば中川誠一郎・中村圭志・東矢圭吾の地元トリオは外せない判断。勿論、岩谷拓磨は有力な候補。決勝の展開はスタート抜群の中石が前を取り、坂本貴を連れて先制すれば、3番手に位置するのは東ラインで河村雅か。中近一人の谷口遼は中団キープから捲りで久々のV奪取。地元トリオは男らしい東矢圭が尊敬してる中川誠に優勝プレゼントせんと中石と派手にやり合う覚悟。ならば番手の中川誠は中村圭を連れて自力に転じ、地元ファンの大声援に込める熊本バンク初優勝。

谷口 遼平 選手 中石 湊 選手



中川誠一郎 選手 東矢 圭吾 選手



常次 勇人 選手 鈴木 涼介 選手



川口 雄太 選手 岩井 芯 選手



頑張れ！ 熊本	級班	選手名	年齢	期別	B K 数
	S1	中 川 誠一郎	46	85	2
	S1	東 矢 圭 吾	26	121	12
	S2	中 村 圭 志	44	86	0
	S2	緒 方 将 樹	26	117	7
	A1	野 口 大 誠	35	105	0
	A1	緒 方 慎太朗	26	115	10
	A2	池 田 伍功羽	22	121	4

S級戦出場予定選手（成績は5月16日現在）

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K 数
S1	中 川 誠一郎	46	熊本	85	2
S1	河 村 雅 章	42	東京	92	0
S1	坂 本 貴 史	36	青森	94	3
S1	谷 口 遼 平	31	三重	103	8
S1	島 川 将 貴	30	徳島	109	9
S1	岩 谷 拓 磨	28	福岡	115	6
S1	新 村 穰	31	神奈	119	3
S1	東 矢 圭 吾	26	熊本	121	12
S2	川 口 満 宏	58	東京	58	0
S2	江 守 昇	50	千葉	73	0
S2	新 田 康 仁	51	静岡	74	0
S2	稲 村 好 将	49	群馬	81	0
S2	青 井 賢 治	49	徳島	81	0
S2	西 田 雅 志	47	広島	82	0
S2	菅 原 晃	45	大分	85	0
S2	中 村 圭 志	44	熊本	86	0
S2	吉 田 健 市	47	愛知	87	0
S2	金 成 和 幸	46	福島	88	0
S2	菊 地 圭 尚	45	北海	89	0
S2	大 澤 雄 大	43	埼玉	89	0
S2	高 橋 和 也	38	愛知	91	3
S2	網 谷 竜 次	38	香川	91	0
S2	鈴 木 裕	40	千葉	92	0
S2	山 口 貴 弘	41	佐賀	92	0
S2	丸 山 直 樹	39	埼玉	93	0
S2	成 松 春 樹	39	佐賀	93	2
S2	岡 光 良	43	埼玉	94	0
S2	白 上 翔	36	滋賀	95	0
S2	内 藤 高 裕	37	東京	96	0
S2	城 幸 弘	39	山梨	96	0
S2	棚 橋 勉	44	岡山	96	0
S2	高 橋 昇 平	35	埼玉	99	0
S2	保 科 千 春	33	宮城	100	0
S2	岡 田 泰 地	33	栃木	100	0
S2	佐 藤 壮	33	千葉	100	0
S2	清 水 剛 志	34	福井	103	1
S2	原 口 昌 平	32	福岡	107	5
S2	嵯 峨 昇喜郎	26	青森	113	7
S2	佐 伯 亮 輔	30	岡山	113	4
S2	荒 木 貴 大	32	埼玉	115	3
S2	脇 本 勇 希	26	福井	115	5
S2	緒 方 将 樹	26	熊本	117	7
S2	治 田 知 也	27	新潟	121	8
S2	齋 藤 雄 行	30	神奈	121	6
S2	日 高 裕 太	23	静岡	121	11
S2	室 井 蓮太朗	24	徳島	121	6
S2	浮 島 知 稀	24	群馬	123	4
S2	長 松 空 吾	25	大分	123	5
S2	中 石 湊	20	北海	125	9

A級戦主力選手（成績は5月16日現在）

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K 数
A1	江 連 和 洋	53	栃木	76	0
A1	野 口 正 則	34	奈良	105	1
A1	野 口 大 誠	35	熊本	105	0
A1	川 口 雄 太	28	徳島	111	2
A1	鈴 木 涼 介	27	福島	115	8
A1	常 次 勇 人	23	大阪	121	8
A2	山 田 駿 斗	21	千葉	123	6
A2	岩 井 芯	20	岐阜	125	7
A2	遠 藤 拓 巳	25	香川	125	7

テレビ実況中継予定

6月25日(水) 6月26日(木) 6月27日(金)

スピードチャンネル 690ch
〈10：00～17：00〉

熊本けいりん公式YouTubeチャンネル



<https://youtube.com/@kumamotokeirin87>

熊本けいりんホームページ



<https://www.kumamotokeirin.jp/>

開門時間

3日間とも午前9時45分

S級戦決め手別 1、2着

差 し	逃 げ	(1 1 回)
ま くり	マ ーク	(9 回)
差 し	ま くり	(8 回)
差 し	差 し	(8 回)
逃 げ	差 し	(5 回)
ま くり	差 し	(5 回)
逃 げ	マ ーク	(4 回)
ま くり	ま くり	(3 回)
ま くり	逃 げ	(2 回)
その他		(2 回)

(2025年1月～2025年4月)

バンク情報

◎中川誠一郎（熊本）46才85期生

御存知、熊本輪界を支えて来た功労者。日本選手権・高松宮記念杯・全日本選抜の特別（G I）Vもだが、ナショナルチームで頑張り、オリンピック2度の出場は色褪せる事ない栄光。現在は来年2月熊本全日本選抜に出るためにやるだけの練習はして居り、今回は後輩東矢圭吾が前で頑張ってくれるだけでなく、後を気心知れてる中村圭志が固めてくれる最高の展開。

◎東矢 圭吾（熊本）26才121期生

兄昇太（98期）の後を追って千原台高に進み、自転車競技をスタートさせ、中央大学で開花させたエリートレーサー。チャレンジにA級1・2班戦は特別昇進でクリヤー。S級戦でも結果を残し、1班昇格もだが記念優参も経験。初優勝は昨年12月前橋F I、先輩塚本大樹の献身援護で2周逃げ切り。2度目は5月福井F I、巧みに4番手キープしての捲り。狙うは3度目のV。

◎中石 湊（北海道）20才125期生

大阪で育った浪速っ子は大森慶一のお父さん芳明氏（引退41期）が監督を務める北海道的高校に自転車留学、それが良かったのかスプリント種目で頭角を現わし、ナショナルチーム入りする迄に。125期在任時代にはスピード強化に専念してチャレンジ・A級1・2班戦は特別昇進。雄大な体もだが立派なアフロヘアに世界に通用する快速は天下取る器。堂々の優勝候補。

◎中村 圭志（熊本）44才86期生

努力は報われるを地で行く真面目が歩いてる様なレーサー。落車も多く、1年間を無事完走する事は殆んど無いが、この年齢に成り旬を迎えてるのは凄い。ライン戦主流は変わらないが、番手の仕事は全うするし、目標不在の時は敢然と好位を求めて競りに行くのがスタイル。2班なので予選スタートに成るが、後輩緒方将樹が控えて居り、準決は東矢か中川が居る。

◎谷口 遼平（三重）31才103期生

もっと強いイメージがあったのに昨年12月西武園決勝で落車して鎖骨々折、復帰してやっと調子上がって来たのに名古屋ダービーで不運にも1走目・2走目と連続落車しても強硬出場したのもあって次の玉野F Iは信じられない不成績だったが、弟子と練習する事で徐々に戻してるのは楽しみ。熊本新バンクは1度経験して居り、今回は中近の代表として決勝には駒を進める。

◎河村 雅章（東京）42才92期生

体は小さいが立川をホームにしている若手のリーダーとして一緒に練習してるのが1班に在籍してる要因。最近はメンバー上、自力を出す事は減ったが、何時でも出す準備してるのは頼もしい限り。初日特選で自力を試せるのは有利なのかも。準決勝は乗りに乗るまくってる自力型、浮島知稀に治田知也が上がって来るのは間違いなく、任せて決勝の切符を掴み取る。

◎坂本 貴史（青森）36才94期生

輪史に名を残す大スター勉氏（57期引退）の長男として生まれた事もあり、幼少の頃から自転車競技をスタートさせるや、高校卒業と同時にエリート揃いの94期に合格。それも優秀な成績で卒業したにしては、そこ迄強く成ってないが北日本を代表する自力型として1班キープして名古屋ダービーでも活躍。今回はとんでもない大型ルーキー中石湊の番手は約束されてる。

次回開催案内

●熊本F I デイ開催

7月24日(木)・25日(金)・26日(土)

●熊本F II モーニング7

7月30日(水)・31日(木)・8/1日(金)

●熊本F II ミッドナイト

8月18日(月)・19日(火)・20日(水)